

一般社団法人 ロシア NIS 貿易会 令和元年度事業報告

【事業報告】

I. 情報サービス・ビジネス交流事業

1. 資料・刊行物等の作成、配布

- ・定期刊行物として、「ロシアNIS調査月報」（11回／年）、「ロシアNIS経済速報」（旬報）（33回／年）を刊行、配布した。
- ・「ROTOBOホームページ」、「日露貿易投資促進機構ホームページ」、「日本ウズベキスタン投資環境整備ネットワーク」、「日本キルギス投資環境整備ネットワーク」、「日本カザフスタン投資環境整備ネットワーク」、「日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク」といったウェブサイト、「CEEDS」（統計データ）他データベースによる情報提供を行った。（Ⅲ. 国庫補助事業：参照）
- ・その他、適宜、資料の作成、配布ならびにレファレンス・サービスを行った。

2. ミッションの派遣

- ・サンクトペテルブルグ国際経済フォーラム（令和元年6月6日～8日、サンクトペテルブルグ市）
令和元年6月6日～8日に開催された第23回サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムの枠内で、実業ロシア及び露日ビジネスカウンスルと共催で、6月8日に日ロビジネス対話「日本とロシア：日露協力の新たな地平」を開催した。同対話では、ROTOBOの目黒副会長（当時）と実業ロシアのレピク会長の両モデレーターのもとで、オレシキン経済発展大臣（当時）や関経済産業副大臣（当時）のほか、日ロの経済界及び官界の代表11名が登壇し、発言を行った。（Ⅲ. 国庫補助事業：参照）
- ・第5回東方経済フォーラム（令和元年9月4日～6日、ウラジオストク市）
令和元年（2019年）9月4日～6日にロシアのウラジオストク市で開かれた「第5回東方経済フォーラム」の枠内で、9月5日に日ロラウンドテーブル「海と陸の大動脈がもたらす新たな極東開発」を露日ビジネスカウンスル、実業ロシアと共同で開催した。日ロ双方から計21名の報告者、コメント発言者が登壇、日本側からは世耕経済産業大臣兼ロシア経済分野協力担当大臣（当時）、片山内閣府特命担当大臣（当時）、ロシア側からはオレシキン経済発展大臣（当時）及びヤクシェフ建設・住宅公営事業大臣の出席があった。なお、聴衆の参加は日ロ合わせて約300名であった（Ⅲ. 国庫補助事業：参照）。

3. 講演会・シンポジウム・セミナー等の開催

- ROTOBO 月例報告会（第 57 回）「シベリア鉄道の利用促進に向けて」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、平成 31 年 4 月 16 日、（一社）ロシア NIS 貿易会会議室）
- ロシア工業団地セミナー in 神戸「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために～生産の現地化と産業協力」（主催：日露貿易投資促進機構事務局（（一社）ロシア NIS 貿易会）、神戸商工会議所、ロシア工業団地協会、後援：兵庫県、（公社）兵庫工業会、（一社）神戸市機械金属工業会、ひょうご・神戸国際ビジネススクエア、関西広域連合、令和元年 5 月 14 日、アリストンホテル神戸）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- ロシア工業団地セミナー in 東京「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために～生産の現地化と産業協力」（主催：日露貿易投資促進機構事務局（（一社）ロシア NIS 貿易会）、ロシア工業団地協会、後援：在日ロシア連邦通商代表部他、令和元年 5 月 15 日、ホテルニューオータニ）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- ROTOBO 月例報告会（第 58 回）「ロシア自動車産業の今後を読み解く鍵」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、令和元年 5 月 21 日、（一社）ロシア NIS 貿易会会議室）
- 「第 13 回日本トルクメニスタン経済合同会議」（主催：日本トルクメニスタン経済委員会、（一社）ロシア NIS 貿易会、トルクメニスタン日本経済委員会、令和元年 5 月 23 日、トルクメニスタン アシガバード市、トルクメニスタン外務省）（Ⅲ. 国庫補助事業、V. 二国間経済委員会事務局業務の運営:参照）
- セミナー「ベラルーシ投資の魅力とグレートストーン工業団地の概要」（主催：ベラルーシ共和国大使館、グレートストーン工業団地開発会社、（一社）ロシア NIS 貿易会、（一財）海外投融資情報財団、後援：国際連合工業開発機関、東京投資・技術移転促進事務所、（株）国際協力銀行、令和元年 5 月 28 日、（株）国際協力銀行）
- サンクトペテルブルグ国際経済フォーラム ビジネス対話「日本とロシア：日ロ協力の新たな地平」（主催：日露貿易投資促進機構事務局（（一社）ロシア NIS 貿易会）、露日ビジネスカウンシル、令和元年 6 月 8 日、ExpoForum Convention and Exhibition Centre）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- G20 大阪サミットに伴う日露ビジネス会合（主催：日露貿易投資促進機構事務局（（一社）ロシア NIS 貿易会）、経団連日本ロシア経済委員会、露日ビジネスカウンシル、実業ロシア、令和元年 6 月 29 日、ホテルニューオータニ大阪）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 「第 15 回日本ウズベキスタン経済合同会議」（主催：日本ウズベキスタン経済委員会、（一社）ロシア NIS 貿易会、ウズベキスタン日本経済委員会、後援：在日ウズベキスタン共和国大使館、令和元年 7 月 10 日、ホテルオークラ東京）（Ⅲ. 国庫補助事業、V. 二国間経済委員会事務局業務の運営:参照）
- ROTOBO 月例報告会（第 59 回）「最近の日ロ経済関係と今後の日程」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、令和元年 7 月 31 日、（一社）ロシア NIS 貿易会会議室）
- 第 5 回東方経済フォーラム 日ロビジネスラウンドテーブル「海と陸の大動脈がもたらす

新たな極東開発」(共催：(一社)ロシアNIS貿易会、露日ビジネスカウンスル、実業ロシア、令和元年9月5日、極東連邦大学 ルースキー島キャンパス (ウラジオストク))
(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

- 「クラスノヤルスク地方経済投資プレゼンテーション」(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会)、クラスノヤルスク地方、後援：在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦通商代表部令和元年9月20日、ホテルニューオータニ)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- 日本・カザフスタン石油ガス産業協力特別セッション「IIoT 分野における協力の可能性」(主催：(一社)ロシアNIS貿易会、法人連合「カザフスタン石油・ガス・電力コンプレクス組織協会『カズエナジー』、令和元年9月26日 コンgressセンターEXPO)(Ⅳ. 石油特別会計補助事業:参照)
- ROTOBO 月例報告会(第60回)「一带一路が塗り替えるユーラシアの物流地図」(主催：(一社)ロシアNIS貿易会、令和元年9月26日、(一社)ロシアNIS貿易会会議室)
- 日本ーロシア ピッチセッション@CEATEC「IT 新興国ロシアのイノベーション企業」(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会) 協力：経済産業省、総務省、IOT 推進コンソーシアム、ロシア経済発展省、スコルコヴォ基金、ロシア輸出センター、VEBVENTURES、令和元年10月16日、幕張メッセ 国際展示場)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- スコルコヴォ・オープンイノベーションフォーラム 日本セッション(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会) 協力：経済産業省、総務省、IoT 推進コンソーシアム 令和元年10月21日～23日 スコルコヴォ・イノベーションセンター(テクノパーク))(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- ROTOBO 月例報告会(第61回)「注目度が高まるベラルーシの政治と経済」(主催：(一社)ロシアNIS貿易会、令和元年10月25日、(一社)ロシアNIS貿易会会議室)
- 「ヤロスラヴリ州投資プレゼンテーション」(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会)、ヤロスラヴリ州政府、協力：在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦通商代表部、令和元年11月7日、ホテルニューオータニ)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- 「日ロ医療セミナー in Moscow」(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会)、実業ロシア、露日ビジネスカウンスル、令和元年11月11日、実業ロシア本部)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- 「日ロ医療セミナー in Ufa」(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会)、バシコルトスタン共和国保健省、令和元年11月13日、バシコルトスタン共和国立クワトフ記念病院文化センター「メディク」)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- 「シベリア・イノベーション分野交流セミナー」(主催：日露貿易投資促進機構事務局 ((一社)ロシアNIS貿易会)、協力：札幌市、北海道経済産業局、令和元年11月17日～22日、ノヴォシビルスク国立大学、オムスク国立工科大学他)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

- 「第 10 回日本アゼルバイジャン経済合同会議」（主催：日本アゼルバイジャン経済委員会、（一社）ロシア NIS 貿易会、アゼルバイジャン日本経済協力国家委員会、令和元年 11 月 21 日、如水会館）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 産業協力・企業間交流セミナー 「“ポスト” ナザルバエフ時代を展望する 3 つの視点～政治・経済・石油～」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会）令和元年 12 月 10 日、如水会館）（Ⅳ. 石油特別会計補助事業:参照）
- ROTOBO 月例報告会（第 62 回）「ロシア経済はどこに向かうのかー産業・市場の実態面からの考察ー」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、令和元年 12 月 23 日、（一社）ロシア NIS 貿易会会議室）
- 「令和 2 年新春懇親パーティ」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、令和 2 年 1 月 17 日、如水会館）
- ROTOBO 月例報告会（第 63 回）「激動する世界の中のロシアと日ロ関係」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、令和 2 年 1 月 29 日、（一社）ロシア NIS 貿易会会議室）
- ロシアビジネスセミナー in 神戸「ー中小ビジネスの可能性ー」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会 共催：神戸商工会議所、令和 2 年 1 月 30 日、アリストンホテル神戸）（Ⅰ. 情報サービス・ビジネス交流事業 9. 地域振興セミナー開催事業:参照）
- 産業協力・企業間交流セミナー「2019 年のロシア経済と石油・ガス産業部門の最新潮流」（令和 2 年 2 月 3 日、コングレスクエア日本橋）（Ⅳ. 石油特別会計補助事業:参照）
- 「キルギス企業ミニ・プレゼンテーション」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、キルギス共和国投資保護・促進庁、後援：UNIDO 東京事務所、ジェトロ、協力：在日キルギス大使館、令和 2 年 2 月 14 日、東京プリンスホテル）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 産業協力・企業間交流セミナー「ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、令和 2 年 3 月 2 日、TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター）（Ⅳ. 石油特別会計補助事業:参照）
- 産業協力・企業間交流セミナー「ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発」（主催：（一社）ロシア NIS 貿易会、（公財）環日本海経済研究所、令和 2 年 3 月 3 日、朱鷺メッセ）（Ⅳ. 石油特別会計補助事業:参照）

4. 見本市関連事業

- ・令和元年度に関係諸国で開催された各種見本市について情報提供を行った。
- ・Beauty Fair Japan in Moscow

モスクワで毎年開催されるロシア最大の化粧品・美容展示会「インターチャーム」にジャパンブースを出展し、日本の化粧品・美容関連製品の PR 及びビジネスマッチングの機会を設けた。（開催期間：令和元年 10 月 23 日～26 日 クロッカス・エキスポ（モスクワ州））（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）

- ・アクアサームモスクワ 2020 におけるジャパンプース出展
モスクワで開催される「アクアサーム・モスクワ」にジャパンプースを出展し、日本企業の製品及び技術をPRし、ビジネス・マッチングの機会を設けた。(開催期間：令和2年2月11日～14日 クロッカス・エキスポ[®] (モスクワ州)) (Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

5. ロシア語研修事業

本年度の実績なし。

6. 日露貿易投資促進機構関連事業

「日露貿易投資促進機構」事務局業務を担当し、日本とロシアとのビジネス促進に係わる事業を実施した。(Ⅲ. 国庫補助事業：参照)

7. 「実業ロシア」、「ロシア工業団地協会」、「ロスコングレス基金」との協力の具体化

平成24年(2012年)11月にロシアの経済団体「実業ロシア」、平成28年(2016年)3月に同国の非営利団体「ロシア工業団地協会」、平成29年(2017年)9月にロシアで開催される大会、展示会等の運営機関「ロスコングレス基金」との間で締結した協力の覚書に基づき、各団体と協力し、セミナー開催など貿易・投資の促進に資する事業を実施した。

(Ⅰ. 情報サービス・ビジネス交流事業 2. ミッションの派遣、3. 講演会・シンポジウム・セミナー等の開催、Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

8. 経済交流促進事業

- ・ロシアへの自転車文化普及事業「モスクワ自転車産業展示会『Velopark』出展支援事業」(令和2年2月20日～22日、ソコルニキ・エキシビジョン・コンベンションセンター)

毎年2月にモスクワで開催される「モスクワ自転車産業展示会『Velopark』」についての情報を海外市場での事業展開に関心のある日本企業に提供、出展に関わる支援を行うことにより、日本企業の参加を促し、ロシアへの自転車文化の普及を図った。

9. 地域振興セミナー開催事業

- ・「ロシアビジネスセミナー in 神戸 ―中小ビジネスの可能性―」の開催(令和2年1月30日、アリストンホテル神戸)

兵庫県が2019年にハバロフスク地方との姉妹県50周年を迎え、ロシアにミッションを派遣する等の関心が高まっていることを踏まえ、神戸市においてビジネスセミナーを開催し、日本とロシアのビジネスについての相互理解促進を図った。セミナーでは「日ロのビジネスの現状と課題」、「ビジネスおよび支援の経験から」、「グローバルな地域商社の取り組み」をテーマに講演がなされ、「日ロの中小ビジネスの可能性」についてパネルディスカッションが行われた。

II. 受託調査等事業

下記の調査事業を受託した。(括弧内は受託先)

- ① 「新市場進出等支援事業」(経済産業省)
平成 28 年 5 月にロシア・ソチにて行われた日露首脳会談において、日本政府がロシア政府に提示した 8 項目の協力プランのうち、「5. ロシアの産業多様化・生産性向上」の具体化に向けた取組みの一環として、ロシア企業に対して生産性診断、生産性向上セミナー、訪日研修を実施した。
- ② 「ロシアメディアによる石油・天然ガス関連情報の翻訳および考察業務」((独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC))
- ③ 「MASHPROM 社との営業協力にかかる業務委託」(民間企業からの業務委託)

他

III. 国庫補助事業

国(一般会計)からの補助金を得て下記の事業を実施した。

ロシア地域貿易投資促進事業費補助事業

1. 情報収集・提供事業

(1) ビジネス基礎情報整備事業

以下の事業項目に従い、日ロの企業情報、貿易投資関連基礎情報及びビジネス関連情報の収集を行い、適宜更新を行いながら情報を提供した。

- ① 日露企業情報収集整備・更新
- ② 貿易投資関連基礎情報及びビジネス関連情報整備・更新
- ③ データベース構築・更新

(2) ビジネス詳細情報収集提供事業

① ロシア新規市場開拓可能性調査

A. ロシアにおけるデジタル経済の発展戦略

(令和 2 年 1 月 19 日～23 日 モスクワ市)

(令和 2 年 2 月 24 日～27 日 モスクワ市)

2018 年 3 月に行われたロシア大統領選挙でプーチン大統領が再選を決め、2024 年までの第 4 期プーチン政権がスタートした。2018 年 9 月 29 日には、同年 5 月の大統領令に基づいて「2024 年までのロシア連邦政府の基本方針」がロシア政府によって採択された。基本方針には、いくつかの優先課題が掲げられているが、なかでも注目されるのは「デジタル技術の定着プロセスの加速化」である。本事業では、2019 年のロシア経済の動向と 2024 年までの経済見通し、経済のデジタル化とナショナルプロジェクトを中心に第 4 期プーチン政権の経済発展政策に関わる情報を収集・分析するとともに、当該分野の専門家、当会

職員等を現地へ派遣し、現地の専門家や企業からのヒアリング等を実施し、その結果を調査報告書にとりまとめた。

② ロシア経済法運用・市場慣行実態調査

A. ロシア極東・シベリア・北極の経済開発とビジネスチャンス

(令和元年9月11日～24日 スィクティフカル市、ペトロザヴォツク市、モスクワ市、アルハンゲリスク市)

(令和元年10月10日～20日 ヤクーツク市、クラスノヤルスク市、イルクーツク市)

当会職員をロシア地域に派遣し、ロシア地域における経済法の運用及び市場慣行の現状を把握することによって、日本企業のロシア地域への市場進出の促進を図った。

今年度は、ロシアの極東・シベリア・北極開発政策と関連の法制度について、関連する地域情勢や企業情報、経済データとあわせ、調査を実施し、調査報告書にとりまとめた。そのうえで、日系企業のビジネスの可能性について検討し、対応のあり方を提示した。

2. ビジネスマッチング、コンサルティング事業

(1) ビジネスフォーラム等開催事業

①ロシア開催

A. スコルコヴォ ROBOTICS フォーラムにおける日本セッション

(平成31年4月16日 スコルコヴォ・イノベーションセンター (テクノパーク))

スコルコヴォ ROBOTICS フォーラムは、同分野を対象とした東部ヨーロッパ地域最大の国際フォーラムであり、2013年から毎年開催されている。同フォーラムにて、日本セッションを開催し、「リハビリ現場におけるロボット活用」、「AIを活用した開発プラットフォーム」、「サービス業におけるヒューマノイドロボットの活用」をテーマにプレゼンテーションが行われた、(参加者約70名)

B. サンクトペテルブルグ国際経済フォーラム・日ロビジネス対話

(令和元年(2019年)6月8日 エクスポフォーラムセンター)

サンクトペテルブルグ市で開催された第23回サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムの枠内にて、オレシキン・ロシア経済発展大臣(当時)、関芳弘経済産業副大臣(当時)の隣席のもと、実業ロシア、露日ビジネスカウンシルと共催で日ロビジネス対話「日本とロシア：日露協力の新たな地平」を開催した。同対話では、オレシキン・ロシア経済発展大臣、関芳弘経済産業副大臣ほか、日ロの経済界の代表12名が登壇し、発言を行った。(日本側約70名、ロシア側約80名 計約150名が参加)

C. 東方経済フォーラム・日ロラウンドテーブル

(令和元年9月5日 極東連邦大学ルースキー島キャンパス)

令和元年(2019年)9月4日～6日にロシアのウラジオストク市で開かれた「第5回東方経済フォーラム」の枠内にて、日ロ双方から計21名のモデレータ、報告者、コメント発言者が登壇する、日ロラウンドテーブル「海と陸の大動脈がもたらす新たな極東開発」を露日ビジネスカウンスル、実業ロシアと共同で開催した。日本側からは世耕弘成経済産業大臣兼ロシア経済分野協力担当大臣(当時)、ロシア側からはオレシキン経済発展大臣(当時)の出席があった。(日本側180名、ロシア側120名 計300名が参加)

D. スコルコヴォ オープンイノベーションフォーラムにおける日本セッション

(令和元年10月21日～23日 スコルコヴォ・イノベーションセンター(テクノパーク))

オープンイノベーションフォーラムは、スコルコヴォにとって最も重要なイベントであり、メドヴェージェフ首相が参加し、また直接指揮する会議であり、イノベーション分野を対象とするロシアのビジネスイベントでは最大の規模となる。同フォーラムの枠内で日本ブースを設置、また複数の日本セッションを実施することにより、ICT及びデジタル分野における日本及び日本企業の実践的な取組みをロシア関係者に広くアピールした。(第一セッション90名、第二セッション40名参加、日本ブース内イベントにも延べ200名以上が参加)。

E. モスクワおよびウファにおける日ロ医療セミナー

(モスクワ・セミナー 令和元年11月11日、実業ロシア本部)

(ウファ・セミナー 令和元年11月13日、バシコルトスタン共和国国立クワトフ記念病院文化センター「メディク」)

8項目の「協力プラン」の対象である医療分野において日ロ協力を進めるために、11月10日～15日の日程で日本の医療関係者から成るミッションを派遣し、モスクワ市及びウファ市にて日ロ医療セミナーを開催した。セミナーでは、テーマを「循環器」と「がん放射線医療」とし、同分野の医師や医療従事者、医療機器メーカーが日本における症例及び医療検査・治療技術等を紹介した。(モスクワ・セミナー：約80名、ウファ・セミナー：約70名が参加)

F. シベリア・イノベーション分野交流セミナー

(令和元年11月18日～20日、22日 ノヴォシビルスク国立大学、オムスク国立工科大学 他)

札幌市及び北海道経済産業局と協力し、ノヴォシビルスク市に代表団を派遣、州政府向けのスマートシティ技術の紹介、現地技術者や理系学生向けの日本市場セミナー、そしてAI分野協力セミナーを実施した。また、一部参加者はオムスク市も訪問し、現地デジタル

分野企業・専門家と交流した。(複数のマッチング、またはセミナー事業を実施、延べ 50 名強が参加)

G. サンクトペテルブルグ工場改善セミナー

(令和 2 年 2 月 20 日 サンクトペテルブルク商工会議所)

日本の改善活動のノウハウを伝授するとともに、工場の生産性向上につながる日本の技術を紹介する工場改善セミナーを実施した。日本人専門家が講師を務め、日本の改善活動の考え方や手法を説明した後、ヴェルテックス社より日本式の改善活動の経験を紹介した。また、ロボウィザード社より日本のロボットを使用した生産性の向上についての紹介を行った。(63 名が参加)

②日本開催

A. ロシア工業団地協会セミナー「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために」

(神戸セミナー 令和元年 5 月 14 日 アリントンホテル神戸)

(東京セミナー 令和元年 5 月 15 日 ホテルニューオータニ)

ロシア各地の工業団地の現状等に関わる情報を日本の官民の関係者に提供することを目的として、神戸及び東京において、ロシア NIS 貿易会とロシア工業団地協会の共催によるロシア工業団地協会セミナー「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために～生産の現地化と産業協力」を開催した。

(神戸セミナー 日本側 28 名、ロシア側 18 名 計 46 名が参加)

(東京セミナー 日本側 53 名、ロシア側 18 名 計 71 名が参加)

B. G20 大阪サミットに伴う日露ビジネス会合

(令和元年 6 月 29 日 ホテルニューオータニ大阪)

G20 大阪サミットへのプーチン・ロシア大統領参加に伴って、ロシアのビジネス代表が訪日する機会を利用し、日露双方のビジネス関係者が一堂に集まり、日露ビジネス会合を開催した。同会合では、日露間のビジネスの成果及び課題・問題点に関して意見交換を行った。(日本側 10 名、ロシア側 9 名 計 19 名が参加)

C. クラスノヤルスク地方経済投資プレゼンテーション

(令和元年 9 月 20 日 ホテルニューオータニ)

ウス・クラスノヤルスク地方知事を団長とする代表団の来日を機に、掲題プレゼンテーションを実施した。プレゼンテーションでは同州の経済状況や主力産業であるアルミニウム工業、観光魅力が紹介された。プレゼンテーション終了後は同州企業と日本企業とのビジネスマッチング (14 件) を組織した。

(日本側約 45 名、ロシア側約 15 名 計約 60 名が参加)

D. 日本-ロシアピッチセッション@CEATEC～IT 新興国ロシアのイノベーション企業～
(令和元年10月16日 幕張メッセ 国際展示場)

「CEATEC JAPAN 2019」の枠内で掲題ピッチセッションを開催した。セッションではロシア輸出センターを中心とするロシア・ナショナルパビリオンに出展する同国のスタートアップ企業11社によるピッチが行われたほか、ロシア企業と日本企業のビジネスマッチング(10件)が行われた。(日本側約30名、ロシア側約15名 計約45名が参加)

E. ヤロスラヴリ州プレゼンテーション

(令和元年11月11日 ホテルニューオータニ)

ミロノフ・ヤロスラヴリ州知事を団長とする代表団の来日を機に、掲題プレゼンテーションを実施した。プレゼンテーションでは同州のビジネス環境や投資ポテンシャルが紹介されたほか、同州へ進出している日系企業2社のプレゼンが行われた。プレゼンテーション終了後は同州企業と日本企業とのビジネスマッチング(16件)を組織した。(日本側約50名、ロシア側約30名 計約80名が参加)

(2) ビジネスマッチング推進事業

①派遣型ビジネスマッチング事業

A. 中堅・中小企業の貿易・投資促進ビジネスマッチング

- ・ロシアにおける日本の化粧品・美容関連製品輸出促進イベント

「Beauty Fair Japan in Moscow」

(実施期間：令和元年10月21日～30日)

(開催期間：令和元年10月23日～26日 クロッカス・エキスポ(モスクワ州))

(市場視察：令和元年10月27日～28日 モスクワ市、サンクトペテルブルグ市)

日本の化粧品・美容関連製品の海外販路開拓・拡大に資することを目的に、モスクワで毎年開催されるロシア最大の化粧品・美容展示会「インターチャーム」にジャパンプースを出展し、日本の化粧品・美容関連製品のPR及びビジネスマッチングの機会を設けたほか、モスクワとサンクトペテルブルグで化粧品の市場視察を実施した。(「インターチャーム」のジャパンプースには化粧品や美容機器等の日本企業16社が参加)

B. ロシアの地方都市における投資・貿易促進ビジネスマッチング

該当なし。

C. 先進分野における貿易・投資促進ビジネスマッチング

- ・アクアサームモスクワ2020におけるジャパンプース出展

(実施期間：令和2年2月9日～16日)

(開催期間：令和2年2月11日～14日 クロッカス・エキスポ (モスクワ州))

ロシアでは近年、建築及び住宅部門における質の向上に強い関心が向けられており、住宅などで使用されるサニタリー製品、水回り製品、空調、暖房においてより質の高い製品への需要が高まっている。2020年2月にモスクワで開催される「アクアサーム・モスクワ」にジャパンブースを出展し、日本企業の製品及び技術をPRし、ビジネス・マッチングの機会を設けた。(日本企業7社が出展、出展期間中に約900名がブース来訪)

① 受入型ビジネスマッチング事業

・日本木工機械展ビジネスマッチング

(令和元年9月29日～10月10日)

日本の木工機械のロシアへの輸出振興を図るため、日本の木工機械メーカーの製品輸入に関心のある複数のロシア企業幹部等を招聘し、日本木工機械展(ウッドエコテックス2019)に出展する日本企業との商談及び工場視察等を行った。(招聘したロシア企業幹部他46名が参加)

3. 機構関連業務実施円滑化事業

「日露貿易投資促進機構」事務局業務の円滑な実施のために当会モスクワ事務所の機能を活用して、ロシア連邦政府、地方行政府、実業ロシアをはじめとする経済団体との間の頻繁な折衝、調整等を行った。必要に応じて、モスクワ事務所の職員を現地に同行させ、適切な助言と支援を行い、また、ロシア人専門家、企業家の日本への渡航に際しては、日本入国査証の支援を行い、事業の円滑な実施を可能にした。

中央アジア地域等貿易投資促進事業費補助事業

1. 投資環境整備・ビジネス振興事業

本事業の中の「(1)「投資環境整備 NW」：設立準備・運営円滑化事業」、「(2) ビジネス情報収集・提供事業」、ならびに「(3) ビジネスフォーラム開催、企業間交流促進事業」は、世界有数のエネルギー資源埋蔵量を擁し、かつ地政学的に重要な位置にある中央アジア諸国との経済関係拡大が我が国にとって重要であるとの認識に立ち、同諸国における投資環境整備と、日本との間の民間ビジネス振興を目的とした一連の事業を行うものである。

また、「(4) 産業育成ビジネスマッチング事業」は、原燃料・一次産品生産に特化した単純な産業構造を擁する中央アジア諸国にとって、産業多角化は長期的経済発展を図る上で不可欠の要件であるとの認識に鑑み、これを日本企業とのビジネスマッチングによって支援することを目的とする。

今年度は、「(1)「投資環境整備 NW」設立準備・運営円滑化事業」については、投資環境整備のための意見・情報交換、人的交流、相互理解強化のための機関としてこれまでにウズベキスタン、キルギス、カザフスタン、トルクメニスタンとの間で設立した投資環境整備ネ

ットワーク日本側ウェブサイトの運営、ならびに現地カウンターパートとの業務調整のための現地出張を行った。

「(2) ビジネス情報収集・提供事業」では、日本企業に対する中央アジア経済に関する情報提供強化を目的に、カザフスタンの研究機関との協力のもと、調査報告書「中央アジア諸国の政治・経済情勢」をまとめた。

「(3) ビジネスフォーラム開催、企業間交流促進事業」においては、日本と中央アジア諸国の企業交流活発化と投資環境整備等に関する意見交換のため、「キルギス投資ミニ・プレゼンテーション」を開催し、また「第13回日本トルクメニスタン経済合同会議」、「第15回日本ウズベキスタン経済合同会議」、「第10回日本アゼルバイジャン経済合同会議」などで二国間経済委員会の活動を支援した。

「(4) 産業育成ビジネスマッチング事業」では、派遣型ビジネスマッチングとして令和2年3月に「カザフスタン医療視察ミッション」を実施の予定であったが、カザフスタン政府が新型コロナウイルス対応として同年2月20日より日本からの渡航者を一定期間検疫下に置く措置を導入したことにより中止した。また、受入型ビジネスマッチングについては、中央アジア諸国の在京大使館および現地パートナー機関を通じて、現地側のビジネスマッチング案件募集を行い、書類審査により最終的にカザフスタンおよびキルギスより各1グループずつを当年度受入型ビジネスマッチング対象企業グループに選定した。キルギスについては対象グループを日本へ招聘し、日本企業とのマッチングを図ることができたが、カザフスタンについては新型コロナウイルスに係る事情のため、事業を中止した。

<「投資環境整備NW」設立準備・運営円滑化事業>

- ・日本アゼルバイジャン投資環境整備ネットワーク設立準備出張
令和元年10月25日～26日 アゼルバイジャン共和国バクー市
- ・日本キルギス投資環境整備ネットワーク業務調整出張
令和2年1月19日～20日 キルギス共和国ビシケク市
- ・日本ウズベキスタン投資環境整備ネットワーク業務調整
令和2年3月2日～6日 ウズベキスタン共和国タシケント市、フェルガナ市、コーカンド経済特区

<ビジネスフォーラム開催、企業間交流促進事業>

- ・第13回日本トルクメニスタン経済合同会議
(令和元年5月23日 アシガバード市) (参加者105名)
- ・第15回日本ウズベキスタン経済合同会議
(令和元年7月10日 東京) (参加者178名)
- ・第10回日本アゼルバイジャン経済合同会議
(令和元年11月21日 東京) (参加者100名)

- ・キルギス企業ミニ・プレゼンテーション
(令和2年2月14日 東京) (参加者 103名)

<産業育成ビジネスマッチング事業>

- ・第1回受入型ビジネスマッチング
「キルギス食品加工グループ・ビジネスマッチング (外食 FOOD TABLE 展出展)」
(令和2年2月10日～16日)

IV. 石油特別会計補助事業

国(石油特別会計)からの補助金を得て下記の事業を実施した。

産油国等連携強化促進事業費補助事業(中東等産油・産ガス国投資等促進事業)

ロシア等産油・産ガス国投資等促進事業

(1) 戦略的投資環境調査・情報提供事業

◆ロシア

(令和元年6月30日～7月5日 ロシア連邦 サレハルド市、ノーヴィ・ウレンゴイ市)

(令和2年2月15日～24日 ロシア連邦 トムスク市、モスクワ市)

ロシアにおける石油・天然ガスの精製・加工、省エネ・環境配慮型技術の導入、北極地域を含む開発困難地域における協力可能性、石油・天然ガス関連サービス産業に関わる現状、その多様化・高度化及び労働生産性の向上に関連した日本企業との協力可能性について調査するべく、ヤマロネネツ自治管区(サレハルド市、ノーヴィ・ウレンゴイ市)、トムスク市、モスクワ市を訪問、現地政府関係者や現地専門家との面談を通じて最新情報を収集し、調査報告書にまとめた。

◆中央アジア・コーカサス

(令和2年1月21日～25日 カザフスタン共和国 ヌルスルタン市、アルマトィ市)

(令和2年2月29日～3月2日 アゼルバイジャン共和国 バクー市)

対象国をカザフスタン及びアゼルバイジャンとし、カザフスタンの国営石油企業「カズムナイガス」、アゼルバイジャンの同「SOCAR」について、近年注目されている民営化・IPOの計画に焦点を当てつつ、その設立の経緯と組織的概要、政府との関係、現行の事業及び経営状態、事業多角化の現状、外資導入及び海外進出戦略等を網羅的に調査し、そのそれぞれの国家経済に与える影響について、包括的な情報収集・分析を行い、調査報告書にまとめた。

(2) 戦略的産業協力・企業間交流促進事業

1) 産業協力・企業間交流セミナー開催(日本開催)

◆ロシア①: 「2019年のロシア経済と石油・ガス産業部門の最新潮流」

近年のロシア経済動向を正確に把握するべく、ロシア経済分析及び石油・ガス産業分析に精通した専門家を招聘した。近年のロシアは、欧米による経済制裁の継続、そして需要減の続く

国際エネルギー市場の市況を反映してか、低成長状態が続いており、新たな産業育成の必要性がこれまでになく高まっている。また、石油ガス産業においても中国へのガス供給が開始された他、北極域での新規プロジェクトへの期待も高まっており、今後の産業展望に注目が集まっている。このような背景を踏まえ、ロシアの経済と石油・ガス産業部門に関して総合的な視野を得るべく、本セミナー事業を実施した。

- ・産業協力・企業間交流セミナー「2019年のロシア経済と石油・ガス産業部門の最新潮流」
(令和2年2月3日 コングレスクエア日本橋)

◆ロシア②：「ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発」

ロシア極東における経済動向を正確に把握するべく、現地の経済分析及び石油・ガス産業分析に精通した専門家を招聘することとした。極東・東シベリア地域は近年、産業多角化の必要性が説かれている地域でもあり、同地域への日本企業の投資・開発支援への期待は大きい。また、石油ガス産業においても中国へのガス供給が開始されるなど、重要な変化も生じている。このような背景を踏まえ、ロシア極東（シベリア含む）の経済と石油・ガス産業部門に関して最新の情報を提供すべく、本セミナー事業を実施した。

- ・産業協力・企業間交流セミナー「ロシア極東経済と極東シベリアの石油ガス開発」
(都内開催 令和2年3月2日 TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター)
(新潟開催 令和2年3月3日 朱鷺メッセ)

◆中央アジア・コーカサス：「“ポスト” ナザルバエフ時代を展望する3つの視点～政治・経済・石油～」

カザフスタンにおいて2019年3月に独立前の1990年からその地位にあったヌルスルタン・ナザルバエフ大統領が突如辞任したことに鑑み、政権交代が同国の政治、経済、および石油産業に与える影響について考察するセミナーを、カザフスタンおよびポーランド(元カザフ国籍で現在同国に移住)より招聘した3名の専門家、ならびにコメンテーターとして北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターより招いた日本人専門家の参加のもと開催した。カザフスタンの国情に関する最新かつ質の高い情報を提供することにより、日本企業の同国に対する理解の深化を促進し、現地進出を考察する契機とした。

- ・産業協力・企業間交流セミナー「“ポスト” ナザルバエフ時代を展望する3つの視点～政治・経済・石油～」
(令和元年12月10日 如水会館)
- ・ミニレクチャー「躍動するユーラシアの国、カザフスタン～大統領交代後の政治・経済の展望

～」

(令和元年12月11日 名古屋外国語大学)

2) 産業協力・企業間交流団派遣事業

◆ロシア：「エネルギー・環境産業協力セミナー」

(令和元年7月21日～25日 ロシア連邦 ノヴォシビルスク市)

パリ協定の発効を念頭に、ノヴォシビルスク市に本部を有するロシア科学アカデミーシベリア支部（通称：シベリア科学アカデミー）より、石炭の効率的利用及び関連する省エネ・環境技術に関し、日本の関連団体である、一般財団法人省エネルギーセンター及び一般財団法人石炭エネルギーセンター（JCOAL）との専門家交流実現について助力を願いたい旨要請があり、両団体の協力を得て、代表者の派遣を実施し、ロシア科学アカデミーシベリア支部側の専門家との面談・意見交換、互いの活動や目的を紹介した上でのディスカッションセミナーを実施した。

◆中央アジア・コーカサス：「エネルギー・環境産業協力セミナー」

(令和元年9月23日～28日 カザフスタン共和国 ヌルスルタン市)

中央アジア地域最大の産油国であり我が国企業も石油開発に参入しているカザフスタンにおいて、2019年9月に開催されるエネルギー産業に関する国際会議及び展示会「カザフスタン・エナジーウィーク」への協力を主催者の公的法人連合「カズエナジー」に要請されたことから、同行事の枠内において二国間協力に関するセミナーを二国間の「日本・カザフスタン石油ガス産業協力特別セッション「IIoT分野における協力の可能性」として開催した。また併せて、日本の石油・ガス分野におけるIoT技術をPRすることを目的に、展示にも参加した。

V. 二国間経済委員会事務局業務の運営

中央アジア諸国、コーカサス諸国およびモンゴルの二国間経済委員会の事務局業務を下記の通り運営した。

・日本アゼルバイジャン経済委員会

－第21回定時総会（令和元年6月11日、如水会館）

－第10回日本アゼルバイジャン経済合同会議（主催：日本アゼルバイジャン経済委員会、（一社）ロシアNIS貿易会、アゼルバイジャン日本経済協力国家委員会、令和元年11月21日、如水会館）

・日本ウズベキスタン経済委員会

－第26回定時総会（令和元年6月11日、如水会館）

－第15回日本ウズベキスタン経済合同会議（主催：日本ウズベキスタン経済委員会、（一社）ロシアNIS貿易会、ウズベキスタン日本経済委員会、後援：在日ウズベキスタン共和国大

使館、令和元年7月10日、ホテルオークラ東京)

- ・日本カザフスタン経済委員会
 - ー第26回定時総会（令和元年6月11日、如水会館）
 - ーナザルバエフ・カザフスタン共和国初代大統領訪日記念プレゼンテーションおよびナザルバエフ・カザフスタン共和国初代大統領に対する筑波大学名誉博士号の授与式に参列（令和元年10月23日、第一ホテル）

- ・日本トルクメニスタン経済委員会
 - ー第26回定時総会（令和元年6月11日、如水会館）
 - ー第13回日本トルクメニスタン経済合同会議（主催：日本トルクメニスタン経済委員会、（一社）ロシアNIS貿易会、トルクメニスタン日本経済委員会、令和元年5月23日、トルクメニスタン アシガバード市、トルクメニスタン外務省）
 - ーベルディムハメドフ大統領訪日歓迎朝食会（令和元年10月23日、ホテル椿山荘）

- ・日本モンゴル経済委員会
 - ー第47回定時総会（令和元年6月11日、如水会館）
 - ーソミヤバサル・モンゴル国鉱山・重工業大臣訪日歓迎昼食会（令和元年9月20日、明治記念会館）
 - ー高岡・前駐モンゴル国日本大使、小林・新駐モンゴル国日本大使歓送迎会（日本モンゴル関係諸団体との共催）（令和元年11月26日、霞ヶ関ビル東海倶楽部）
 - ー第1回日本モンゴル経済委員会勉強会（令和元年12月19日、ロシアNIS貿易会）

VI. 会議の開催

定時総会、理事会、企画委員会等を下記の通り開催した。

- ・令和元年度定時総会（令和元年6月11日、如水会館）
 - 報告事項1 平成30年度事業報告
 - 報告事項2 公益目的支出計画実施報告書
 - 第1号議案 平成30年度計算書類等（案）
 - 第2号議案 役員選任の件（案）

- ・臨時総会（令和元年7月11日、書面による決議）
 - 第1号議案 監事選任の件（案）
 - 第2号議案 理事選任の件（案）

- ・臨時総会（令和2年2月28日、書面による決議）
 - 第1号議案 監事選任の件（案）

- ・令和元年度第1回理事会（令和元年5月20日、如水会館）
 - 議題：
 - 第1号議案 平成30年度事業報告及び事業報告の附属明細書（案）
 - 第2号議案 平成30年度計算書類及び計算書類の附属明細書（案）
 - 第3号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）
 - 第4号議案 令和元年度定時総会開催の件（案）
 - 第5号議案 令和元年度事業計画及び収支予算の一部変更（案）
 - 第6号議案 企画委員会委員の選任（案）
 - 第7号議案 常勤役員（専務理事）選考の件（案）

- ・令和元年度第2回理事会（令和元年6月11日、如水会館）
 - 議題：
 - 第1号議案 役員（会長、副会長、専務理事）の選定（案）
 - 第2号議案 顧問の選任（案）
 - 第3号議案 企画委員会委員長及び委員の選任（案）

- ・令和元年度第3回理事会（令和2年3月18日、如水会館）
 - 議題：
 - (1)議案審議
 - 第1号議案 令和2年度事業計画書（案）
 - 第2号議案 令和2年度収支予算書（案）
 - 第3号議案 新規会員承認の件（案）
 - 第4号議案 企画委員会委員の選任の件（案）
 - (2)その他

- ・令和元年度第1回企画委員会（令和元年5月15日、ロシアNIS貿易会会議室）
 - 議題：(1)令和元年度第1回理事会について
 - ・平成30年度事業報告（案）、平成30年度計算書類（案）
 - ・平成31年度事業計画及び収支予算の一部変更（案） 他
 - (2)令和元年度定時総会および令和元年度第2回理事会について
 - (3)その他

- ・令和元年度第2回企画委員会（令和元年12月26日、ロシアNIS貿易会会議室）

議題：（1）ロシアNIS貿易会 監事選任の件

（2）その他 今後の予定について

- ・令和元年度第3回企画委員会（令和2年3月11日、書面にて開催）

議題：（1）令和元年度第3回理事会について

Ⅶ. 令和元年度会員の入・退会の状況

一般社団法人ロシアNIS貿易会
（令和2年（2020年）3月31日現在）

1. 会員数

正会員	27社	（前年度	27社）
準会員	83社	（前年度	89社）
合計	110社	（前年度	116社）

2. 入会

正会員	0社	
準会員	2社	一般社団法人京都舞鶴港振興会 ピー・ジェイ・エル株式会社

3. 退会

正会員	0社	
準会員	8社	株式会社極東製作所 株式会社ネイチャープラス 北陸環日本海経済交流促進協議会 株式会社高松伸建築設計事務所 Primetals Technologies Japan 株式会社 株式会社インツーリスト・ジャパン Moscow Representative office of "CMS International B.V." (Netherlands) 株式会社JSM

4. 会員資格の変更

1) 準会員から正会員への変更	0社
2) 正会員から準会員への変更	0社

【事業報告の附属明細書】

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 5 月 29 日

一般社団法人ロシア NIS 貿易会